

氏名：石原 堅

役職：ディストリクト・ディレクター

所属クラブ：八王子、ストーリーテリング

経歴

米国駐在時に同僚が加入していた Toastmasters International の存在を知り、帰国後 2011 年から八王子のクラブに所属。2012 年にクラブの広報担当副会長、2013 年に教育担当副会長、2014 年にクラブ会長、2015 年にディビジョンディレクター、2016 年にディストリクトクラブ担当ディレクター、2017 年にディストリクト教育担当ディレクターを経て、2018 年 7 月よりディストリクトディレクター。国内機器メーカー勤務(現職)。マーケティング、商品開発などを経験し、現在は品質保証関係の業務を担当。



これからトーストマスターズに入られる方へのコメント：

トーストマスターズのプログラムは、1905 年に現在のスタイルが確立され、教育プログラムとして年月を経て徐々に洗練されてきました。その際立った特徴のひとつは、運営そのものを教育プログラムの中に組み入れることにより会員自らによる運営を可能とし、良質なプログラムを安価で提供出来ている点です。人生 100 年時代におけるリカレント教育には、一時的な教育だけでなく時間をかけた訓練が不可欠です。学生からシニア層まで幅広くニーズのある社会人基礎力の中の傾聴力・発信力には特に有効なプログラムとなっており、生涯教育をリーズナブルな価格で提供出来ている点は、まさに人生 100 年時代の処方箋のひとつであると言えます。クラブという形式をとっているものの、毎回のミーティングは分単位で時間管理され、場面場面の責任の所在を明確にしながら進行するなど、無駄のない構成となっており、運営のマニュアルも充実しています。数十年継続して学ばれる方もおられ、まさに生涯教育にふさわしい内容となっています。また 5 月からデジタル化時代に対応した新プログラム Pathways の日本導入を開始し、ますますその内容も充実してきています。

米国ではアップル、マイクロソフト、インテル、グーグルなど名だたる企業が取り入れているトーストマスターズのプログラムは、日本ではまだ知名度が低いものの、最近ではグローバル化を目指す米国企業本社からインド、中国、韓国、日本の支社へトーストマスターズ・プログラム導入の指示が出ているケースが報告され、日本でもそれら企業の支社あるいは本社からの要請に応じて対応を始めています。米国ではリーダーシップとコミュニケーションを訓練する効率的な方法として評価されており、やがて日系企業にも浸透すると考えています。トーストマスターズのプログラムの優れている点のひとつは、実業ではなかなか出来ない失敗や失策をリスクを極めて低く出来ることで、まさに失敗する場所と言って良く、失敗から多くを学ぶことが、私の場合実社会において生きています。